

2010(平成22)年9月 実施

第39回 足立区政に関する世論調査 《概要版》

足立区では、昭和47年から区民の方を対象とした世論調査を実施しています。第39回目の調査の概要をお知らせします。調査結果は、区政運営のための基礎資料として活用してまいります。ご協力いただいた区民の方々に心からお礼を申し上げます。なお、調査の全容は「第39回足立区政に関する世論調査」として区のホームページ、区内の各図書館及び区役所区政資料室でごらんいただけます。

今回の調査回答の特徴は、総合的な暮らしやすさの指標が上昇し、定住意向についても高い水準を維持している一方、治安についてのイメージが良くないことなどです。

総合的な暮らしやすさの指標は85.7%と平成13年の質問開始以降最高となりました。定住意向についても、77.0%と昨年に引き続いて高い水準を維持しています。一方、足立区の治安について《良くない》というイメージを持っている方は45.9%と《良い》というイメージの26.9%を上回っています。

今年度は要因を分析する質問を増やすとともに、新たなテーマとして「ビューティフル・ウィンドウズ運動」、「小・中学校教育」、「郷土博物館」、「あだち広報」などについて聞きました。

- 定住性
- 区のイメージ / 地域活動
- 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」
- 小・中学校教育
- 郷土博物館
- 「あだち広報」
- 日常の区民生活
- 保健・医療 / 高齢者福祉施策
- 区政
- 区政への区民の意見の反映
- 人権

調査の概要

- ◇ 対象者 …… 20歳以上の区民
- ◇ 対象者の抽出 …… 単純無作為抽出法
- ◇ 対象者数 …… 3,000人
- ◇ 調査方法 …… 郵送配布郵送回収法
- ◇ 回収数(率) …… 1,579人(52.6%)
- ◇ 調査時期 …… 2010(平成22)年9月

2011(平成23)年3月

足立区

定 住 性

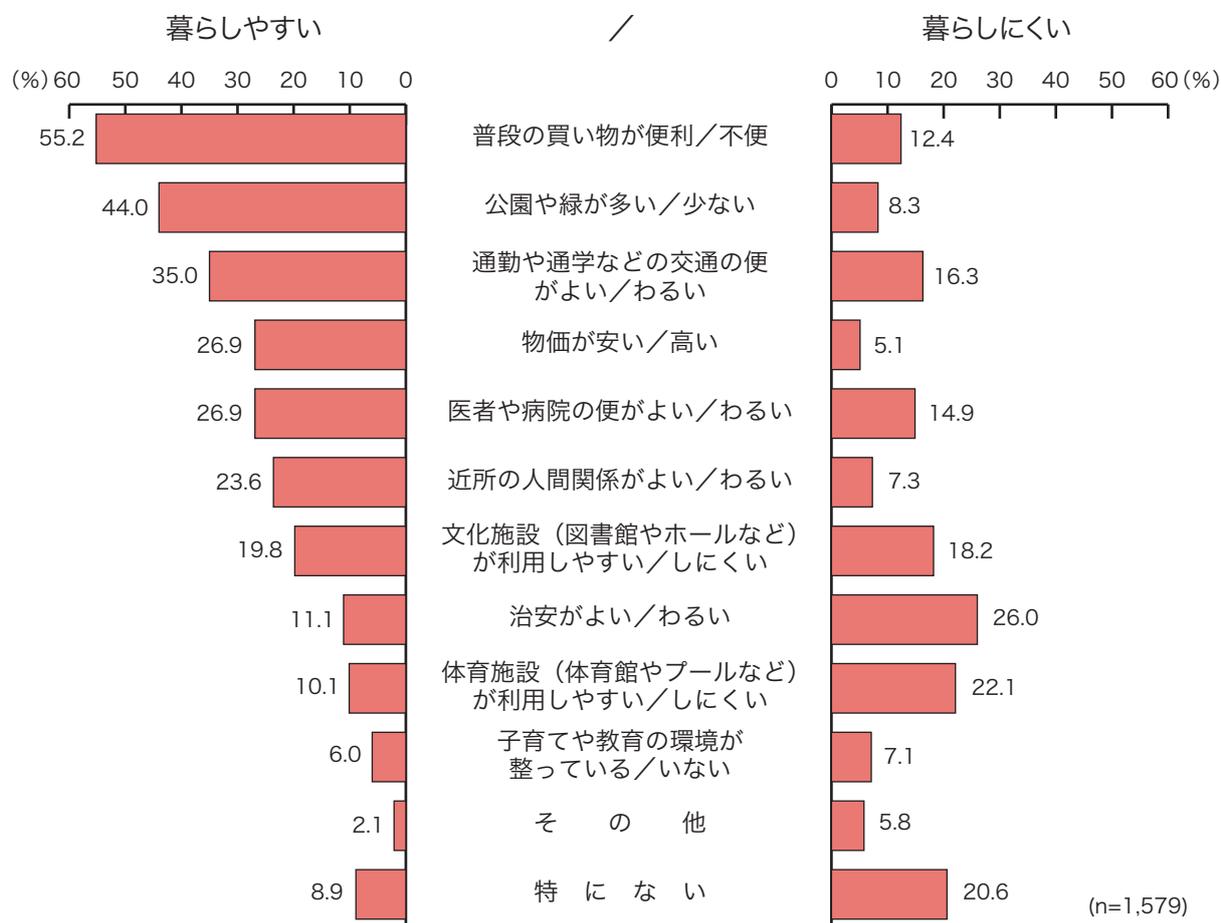
住んでいる地域の暮らしやすい点については、「普段の買い物が便利（55.2%）」、「公園や緑が多い（44.0%）」、「通勤や通学などの交通の便がよい（35.0%）」などとなっており、一方、暮らしにくい点は、「治安がわるい（26.0%）」、「体育施設（体育館やプールなど）が利用しにくい（22.1%）」などとなっています。いずれの回答も居住地域や年齢・性別による差が見られました。

また、総合的な暮らしやすさでは、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計が85.7%と質問を始めた平成13年以降最高の値になりました。

地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点（複数回答）

暮らしやすい点は「普段の買い物が便利」が最も高い

暮らしにくい点は「治安がわるい」が最も高い



参考1：百分比と百分比を合わせる場合、本来の実数値を合わせて算出した百分比を記しているため、その百分比は紙面上の百分比の合計と合わない場合がある。

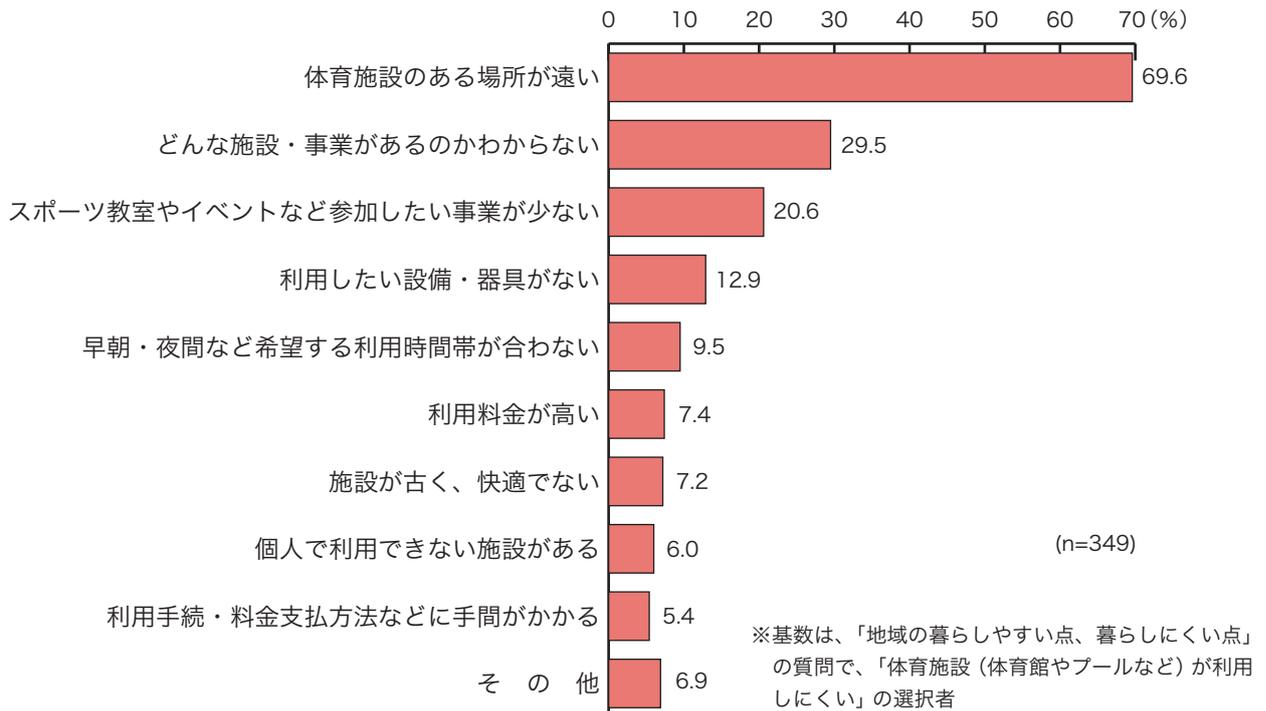
2：図中にあるnは回答者総数のことである。

3：表題に（複数回答）と表記されている場合は、回答数に制限がないことを意味している。

4：複数回答のグラフは、無回答を除いて表示している。

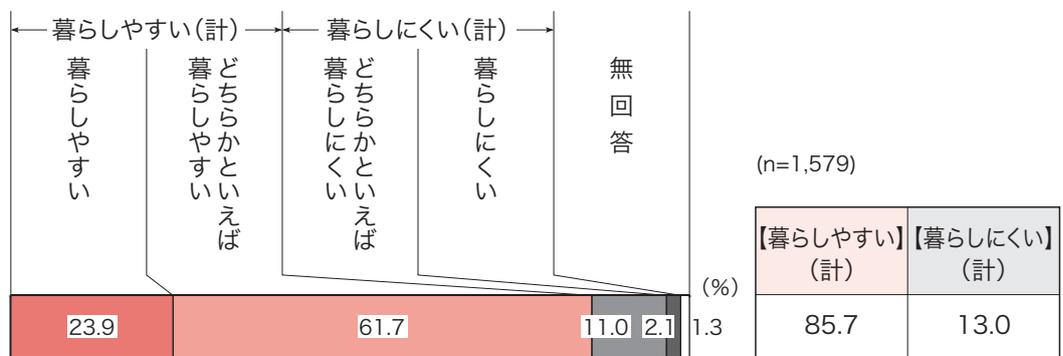
区の体育施設について、使いにくいと感じる理由（複数回答）

「体育施設のある場所が遠い」が69.6%で最も高い



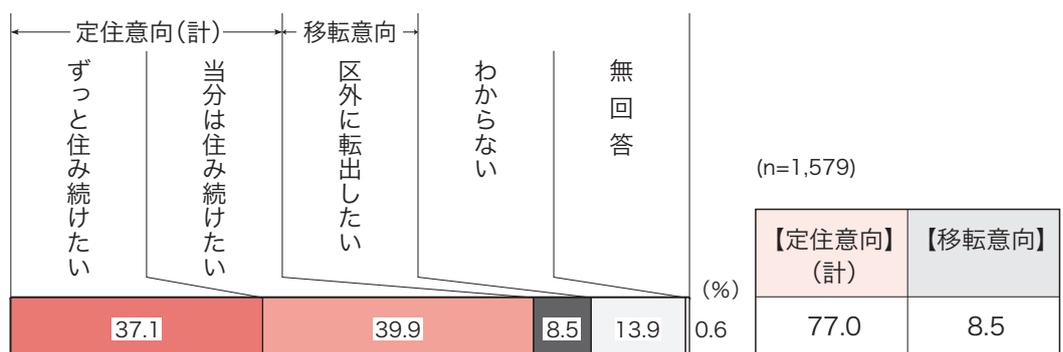
総合的な暮らしやすさ

《暮らしやすい》と感じている人が85.7%で平成13年以降最高に



定住・移転意向

77%の区民が《定住意向》をもっている

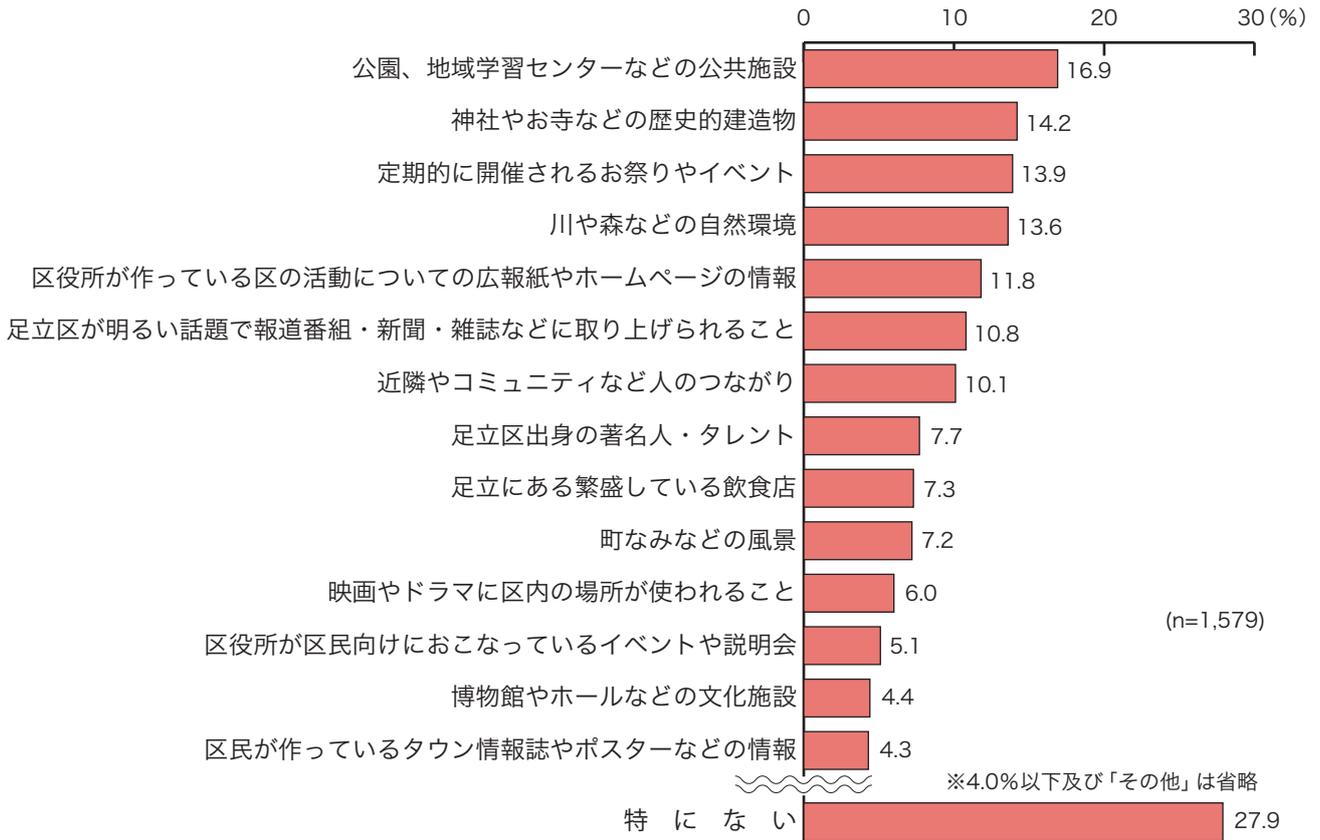


区のイメージ／地域活動

区に対する気持ちについて、「足立区に愛着をもっている」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた《そう思う》が64.7%と6割強の区民が足立区に愛着を持っていることが示されていますが、「足立区に誇りをもっている」、「足立区を人に勧めたい」では《そう思わない》が4割を超えています。いずれの回答も居住地域や年齢・性別による差が見られました。

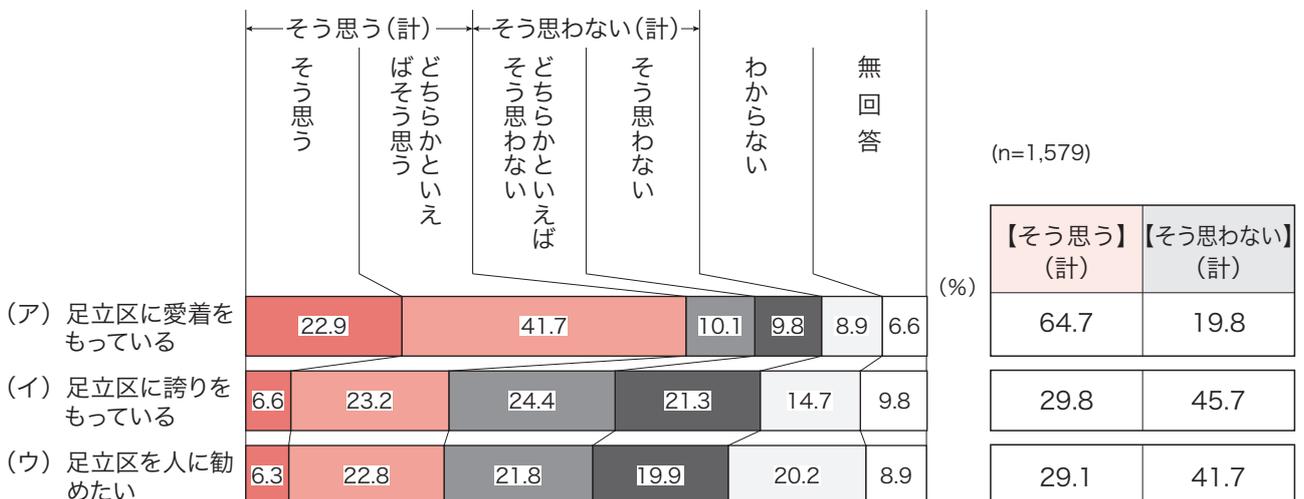
区に対する愛着や誇りにつながるもの（○は3つまで）

「公園、地域学習センターなどの公共施設」が16.9%で最も高い



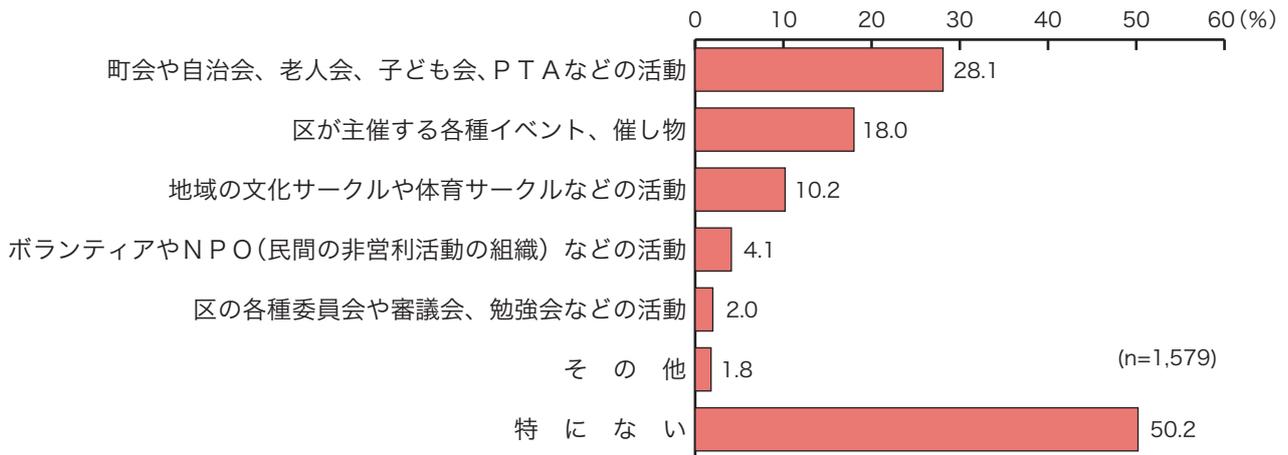
区に対する気持ち

6割強の区民が足立区に愛着をもっている



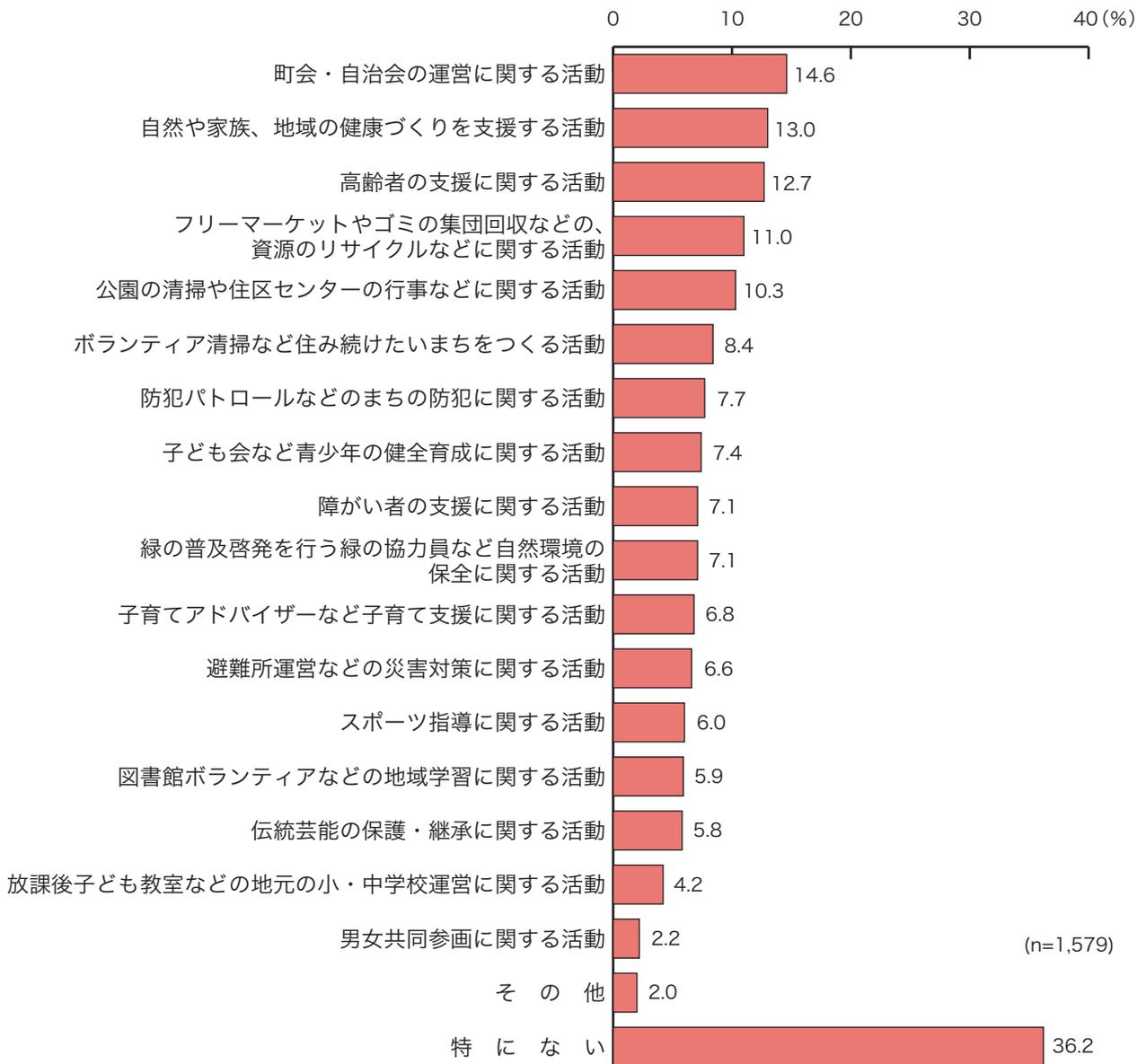
地域活動の参加状況（複数回答）

「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が28.1%で最も高い



地域活動への参加意向（複数回答）

「町会・自治会の運営に関する活動」が14.6%で最も高い

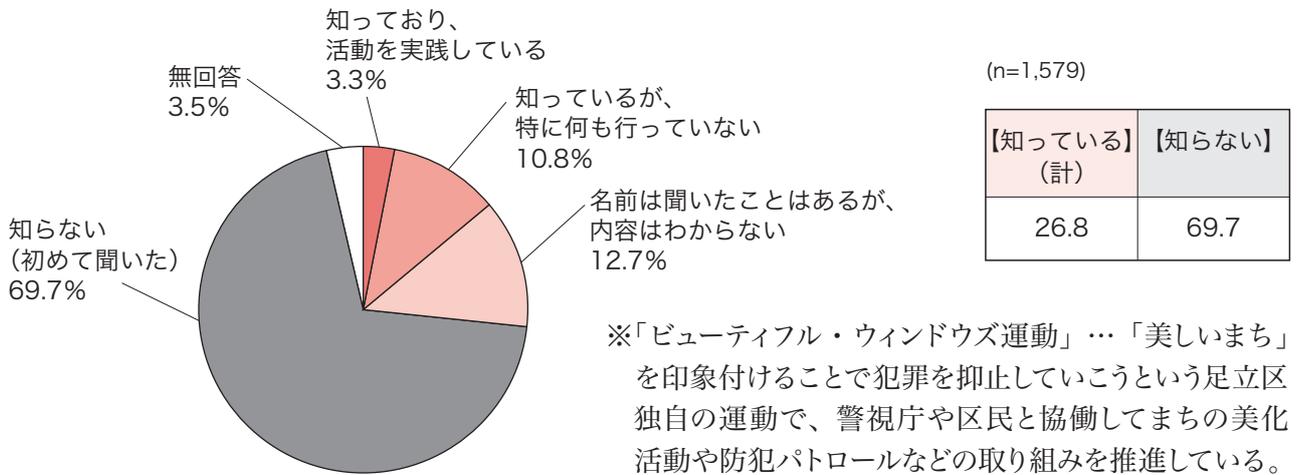


「ビューティフル・ウィンドウズ運動」

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っており、活動を実践している (3.3%)」、「知っているが、特に何も行ってない (10.8%)」、「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない (12.7%)」をあわせた《知っている》は 26.8%で、「知らない (初めて聞いた)」は 69.7%と7割弱の区民にはまだ認知されていない。一方、「ゴミやタバコのポイ捨て」については47.1%が、「放置自転車」については48.4%が《減っている》としている。また、「まちなかの花や緑」については37.1%、「防犯パトロール」については29.2%が《増えている》と回答しています。

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知度

運動を「知っている」者は 26.8%



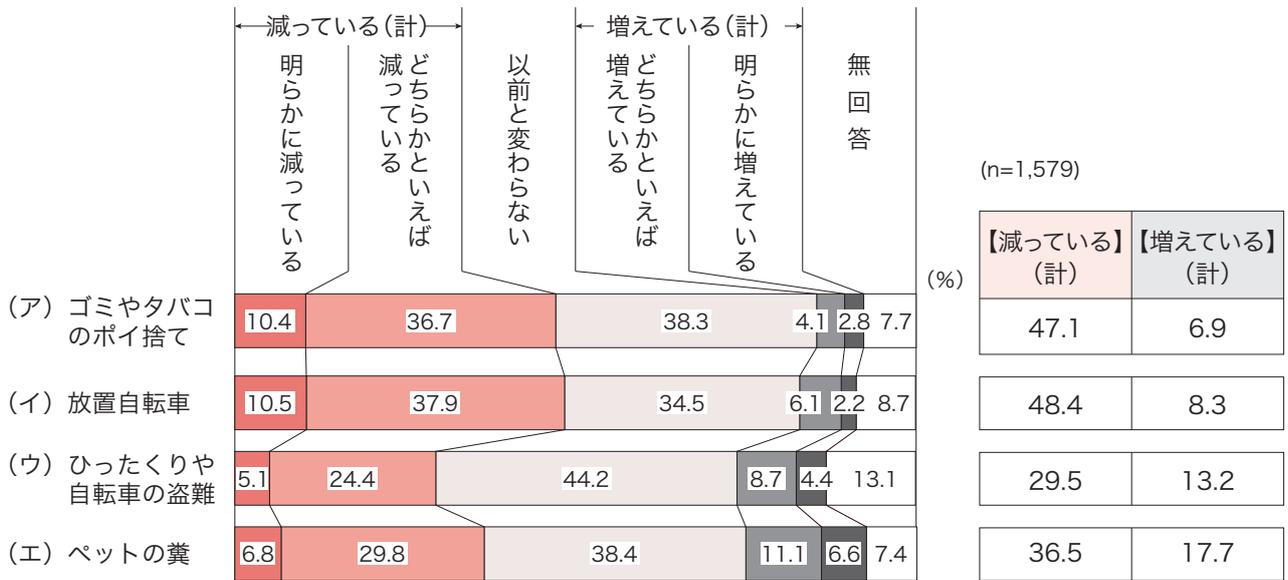
実践している「ビューティフル・ウィンドウズ運動」(複数回答)

「駐輪場の利用(自転車を放置しない)」が 30.0%で最も高い

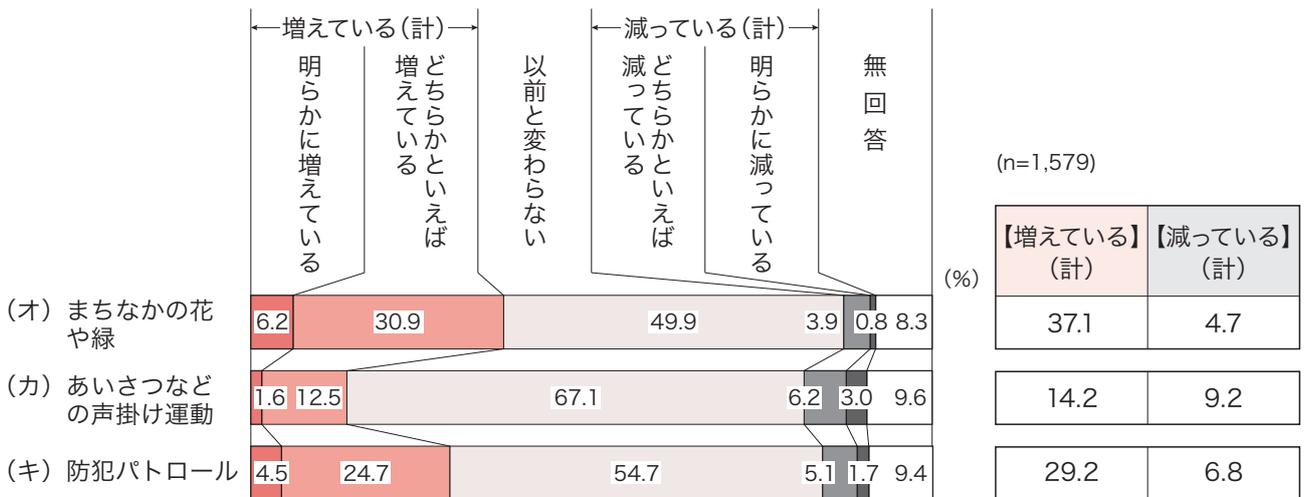


地域の変化についての評価

5割弱の区民がゴミやタバコのポイ捨て、放置自転車は減っていると感じている

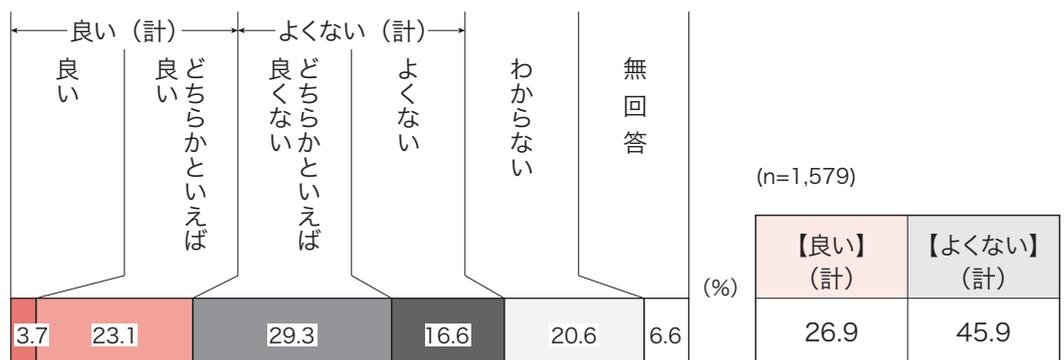


3割前後の区民がまちなかの花や緑、防犯パトロールが増えていると感じている



足立区の治安についてのイメージ

45.9%の区民が足立区の治安イメージを「良くない」としている

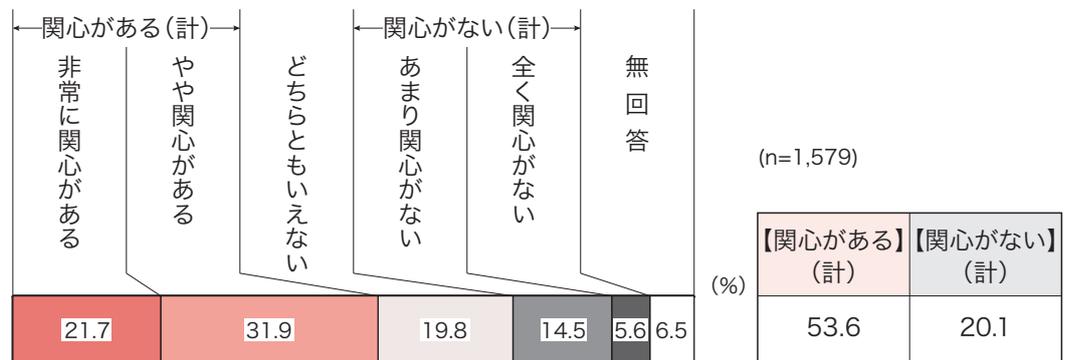


小・中学校教育

小・中学校教育に関するイメージでは、「部活動が活発に行われている」や「学校が地域に開かれている」で、《そう思う》が3割台を示しています。一方、「子どもたちの学力が高い」では6割弱、「子どもたちの体力が強い」では4割以上が《そう思わない》と回答しています。ライフステージごとに差が見られ、小・中学校に子どもを通学させている親の世代に学校教育に関する情報量が多いことがうかがわれます。

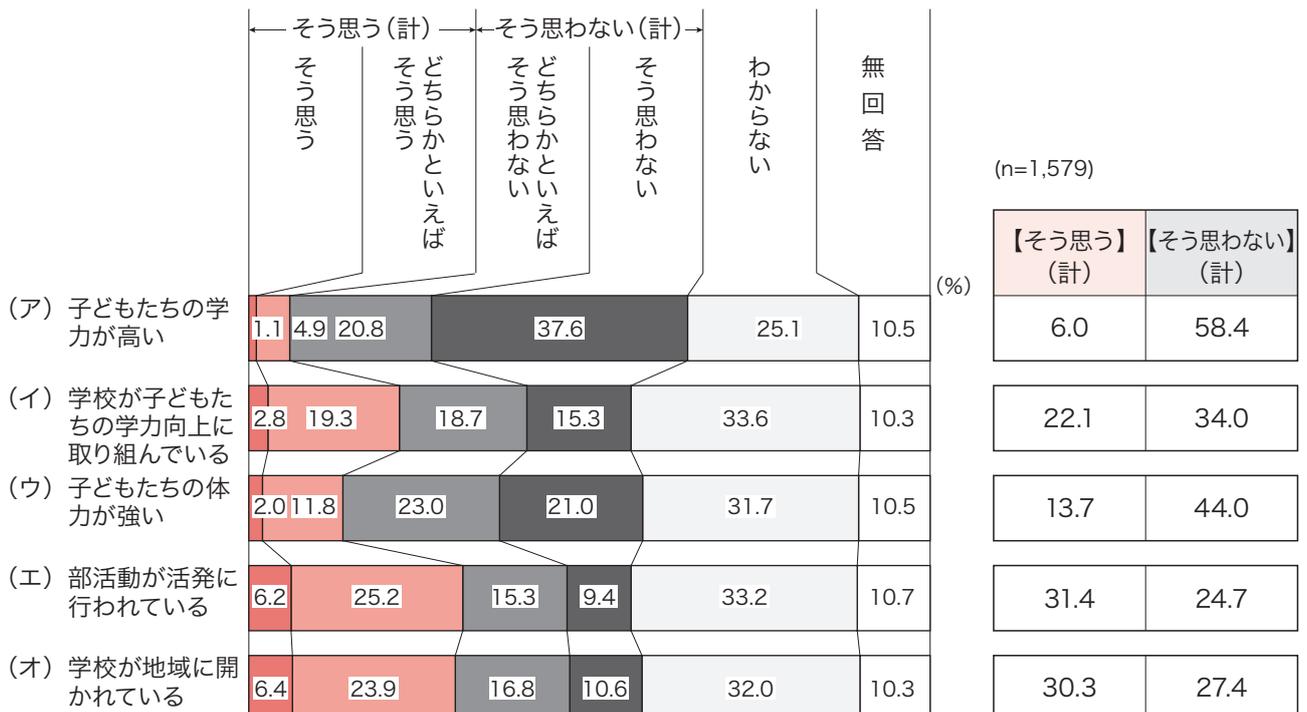
小・中学校教育への関心

約5割の区民が小・中学校教育に関心を持っている



区の小・中学校教育へのイメージ

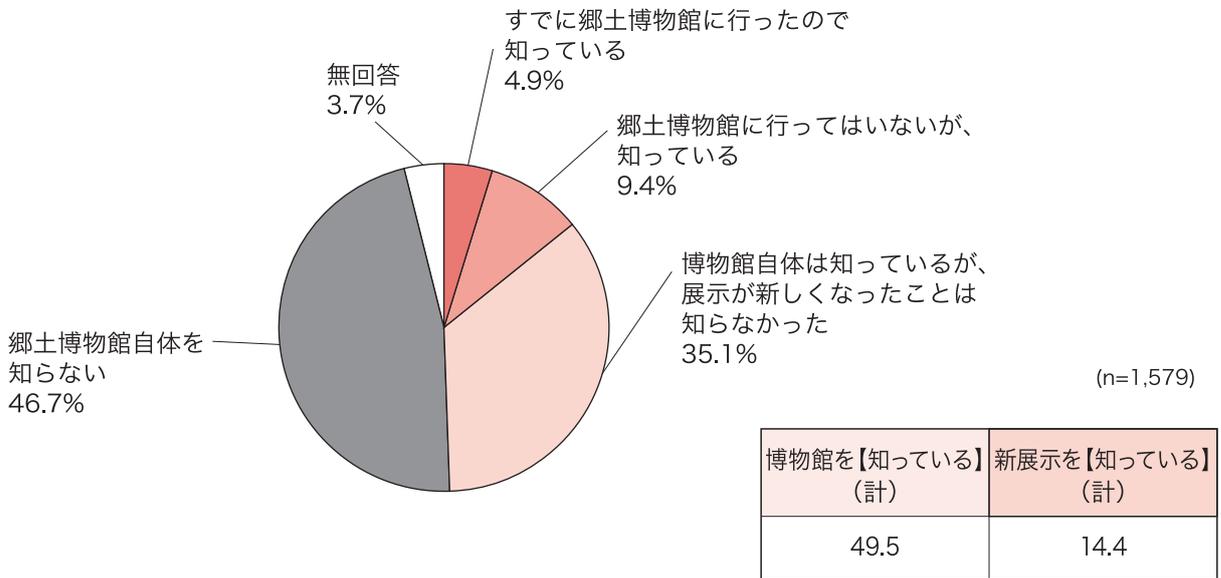
3割が「部活動が活発」「学校が地域に開かれている」との印象をもっている



郷土博物館

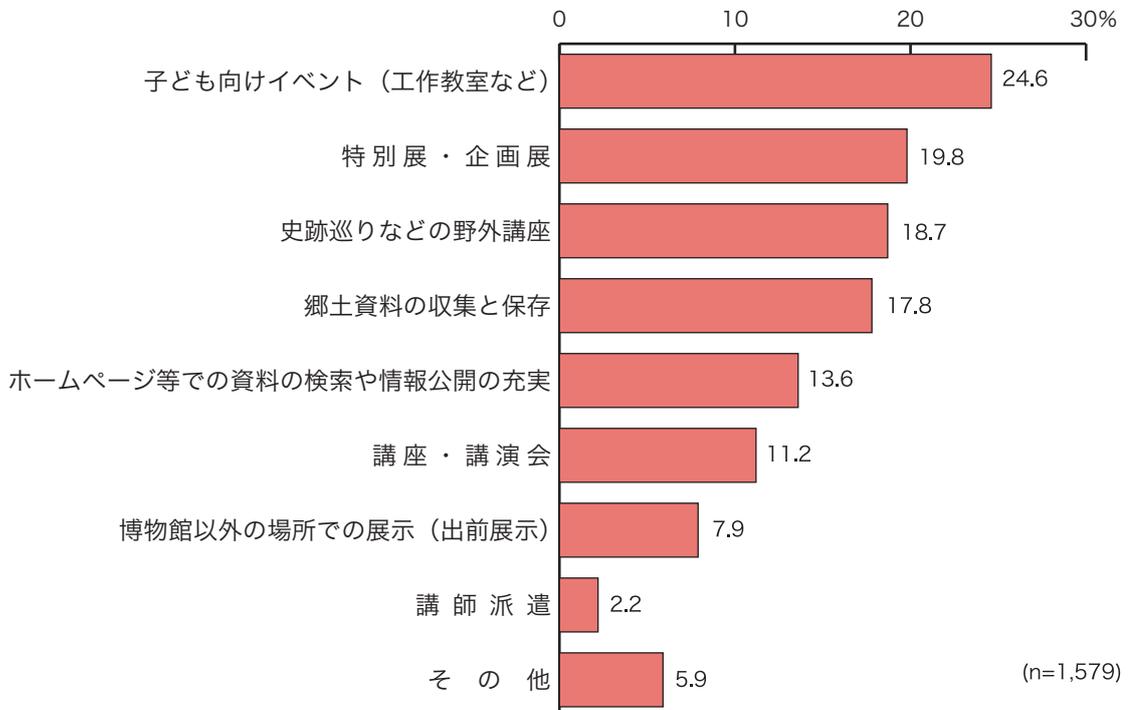
「郷土博物館」における新展示の認知度

新展示を知っている者は1割程度



今後期待する郷土博物館の事業 (○は2つまで)

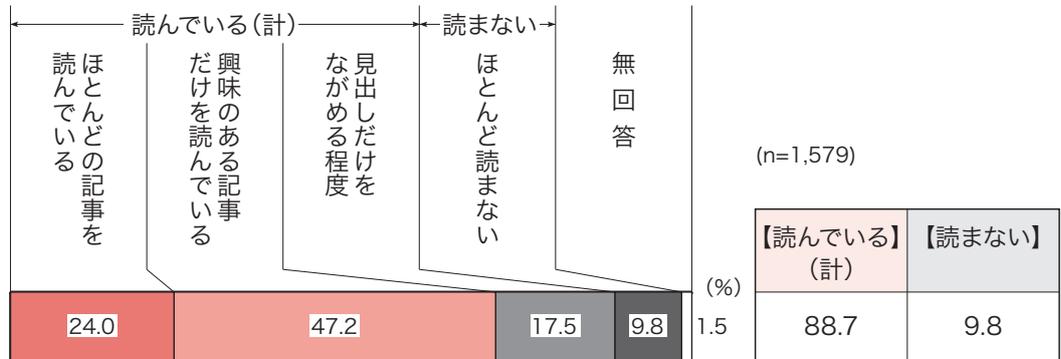
「子ども向けイベント(工作教室など)」が24.6%で最も高い



「あだち広報」

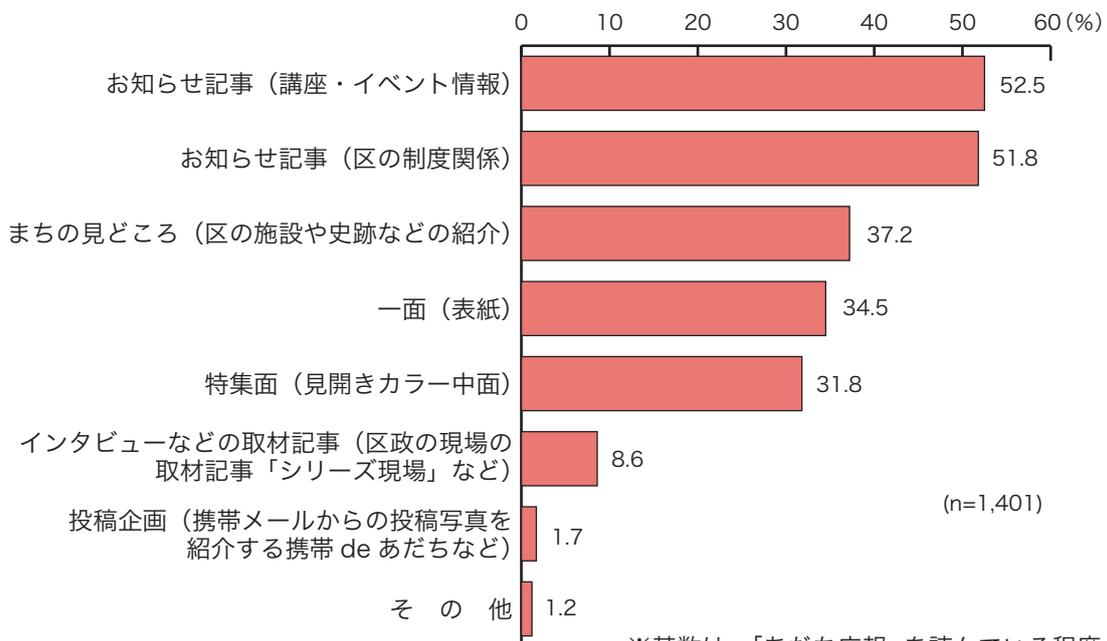
「あだち広報」を読んでいる程度

88.7%の区民が「あだち広報」を読んでいる



「あだち広報」でよく読む内容 (○は3つまで)

よく読まれている内容は「お知らせ記事」(講座・イベント情報、区の制度関係)



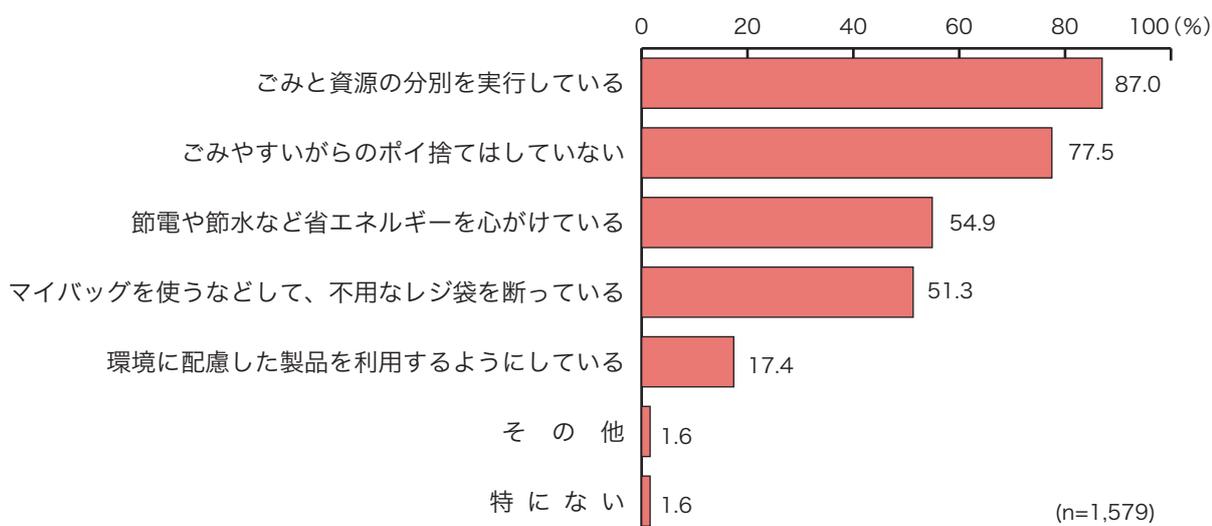
※基数は、「あだち広報」を読んでいる程度の質問で「あだち広報」を「ほとんど読まない」以外の選択者

日常の区民生活

区民自身が日常生活のなかで心がけていることのうち、環境について心がけていることでは、「ごみと資源の分別を実行している（87.0%）」、「ごみやすいがらのポイ捨てはしていない（77.5%）」などが多くなっています。また、災害に備えていることでは、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている（54.0%）」、「自宅に消火器を備えている（32.4%）」、「非常食・飲料水を備蓄している（30.0%）」などがあげられていますが、「特にない」も17.8%となっています。

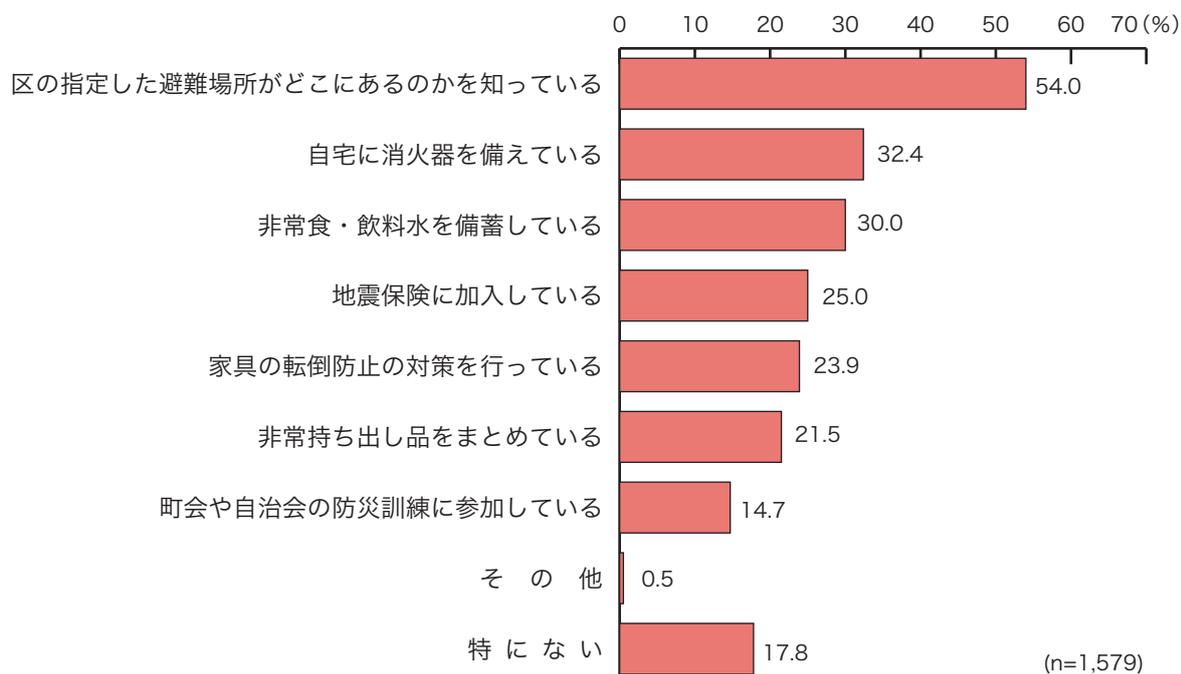
環境のために心がけていること（複数回答）

「ごみと資源の分別を実行している」が9割弱で最も高い



災害に備えていること（複数回答）

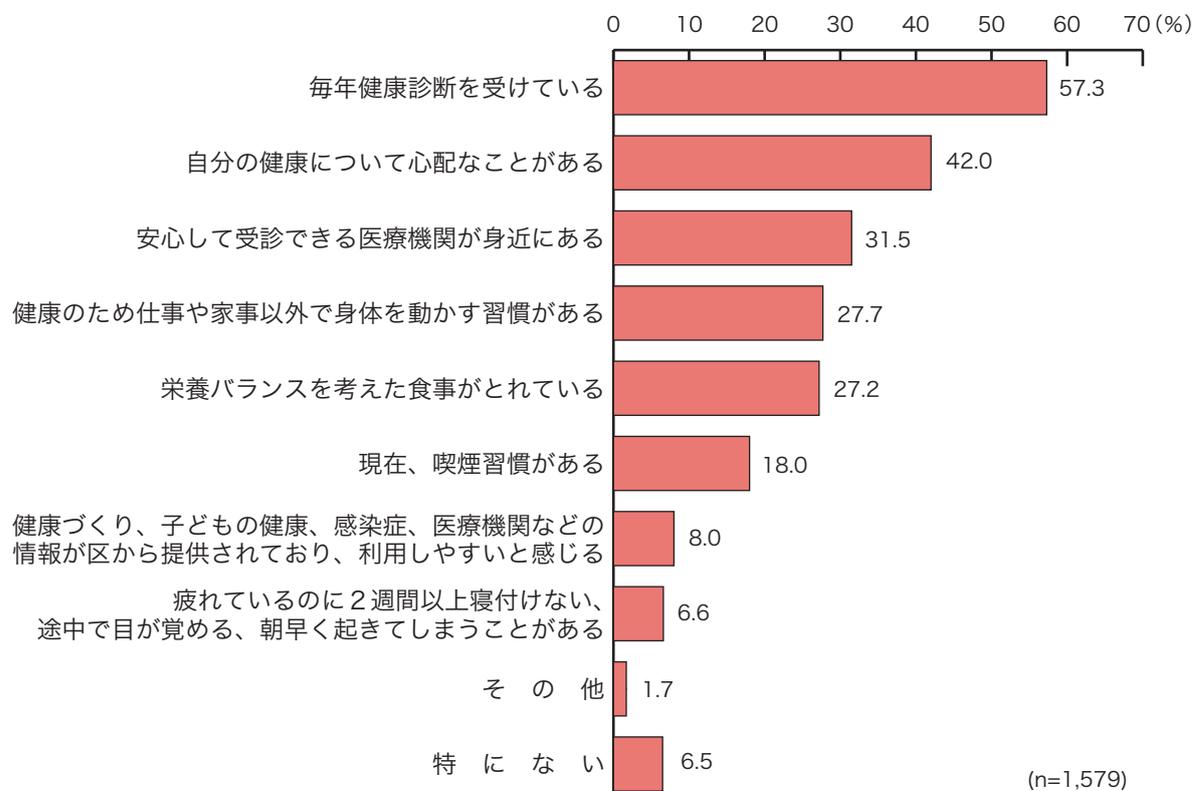
「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が54.0%で最も高い



保健・医療 / 高齢者福祉施策

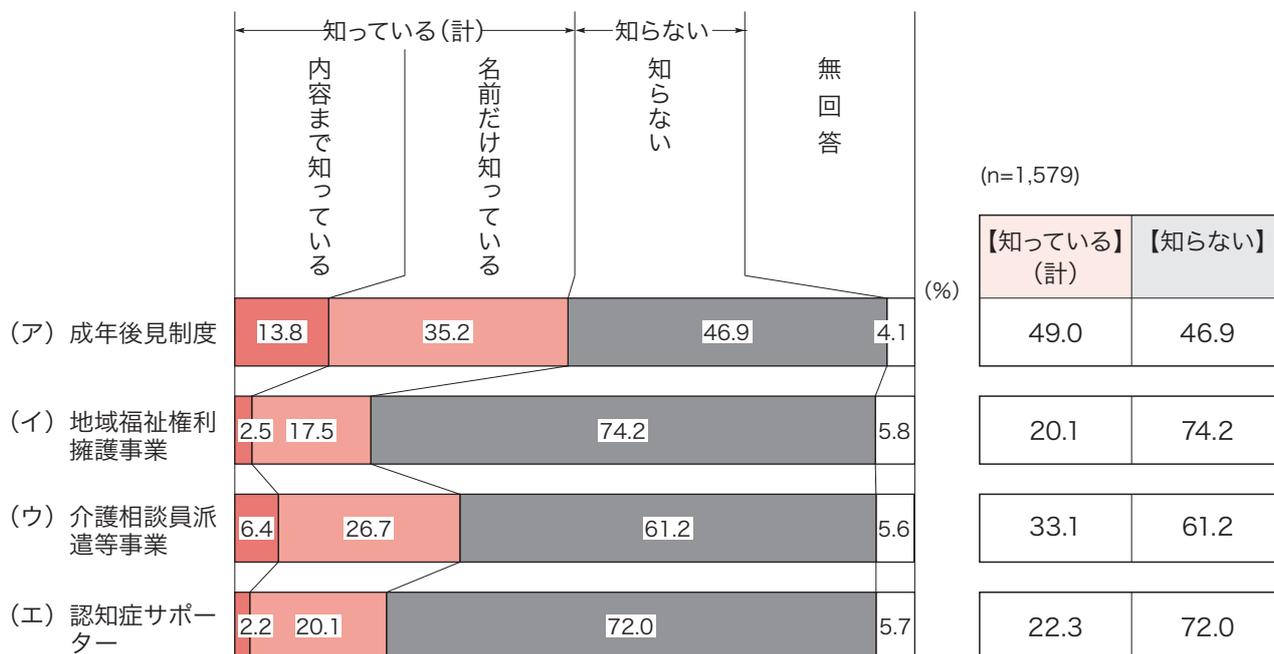
保健と医療について（複数回答）

「毎年の健康診断を受けている」が57.3%で最も高い



高齢者福祉施策の認知度

「成年後見制度」に比べると他の施策の認知度は高いとはいえない

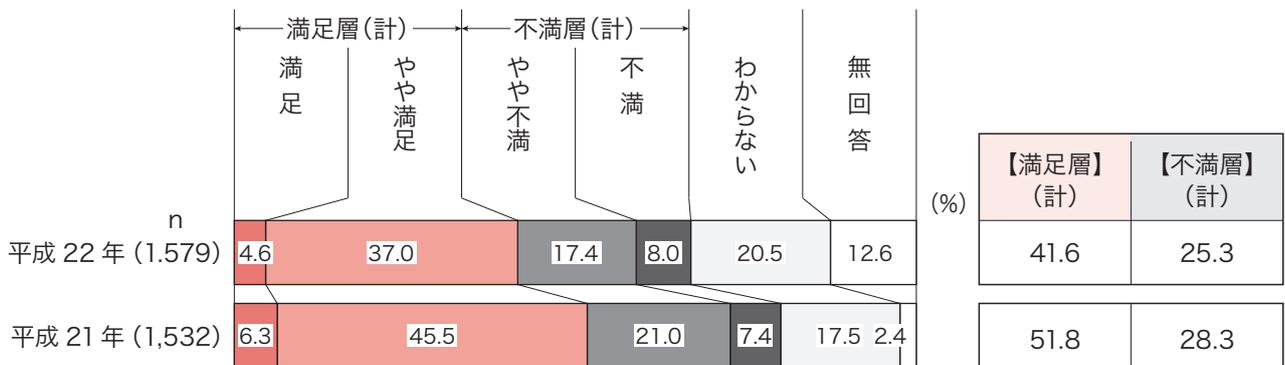


区 政

区政に対する満足度について、《満足層》は41.6%、《不満層》は25.3%といずれも21年より下降しました。満足層の下降の背景として、新線開通エリアに関わる地域において21年の調査において大幅なポイントの上昇が見られたが、22年の調査に関しては新線開通による利便性の向上が所与の条件化したことなどが考えられます。以前と比べてよくなったと思う区の取り組みは、「都市開発(35.3%)」、「自然・緑化対策(31.2%)」、「交通対策(28.0%)」などが上位に上がっています。一方、今後特に力を入れてほしいと思う取り組みとしては、「高齢者支援(36.2%)」、「交通対策(27.8%)」、「子育て支援(20.3%)」の順となっています。ただ、今後特に力を入れてほしいと思う取り組みの順位は、世代によって異なります。

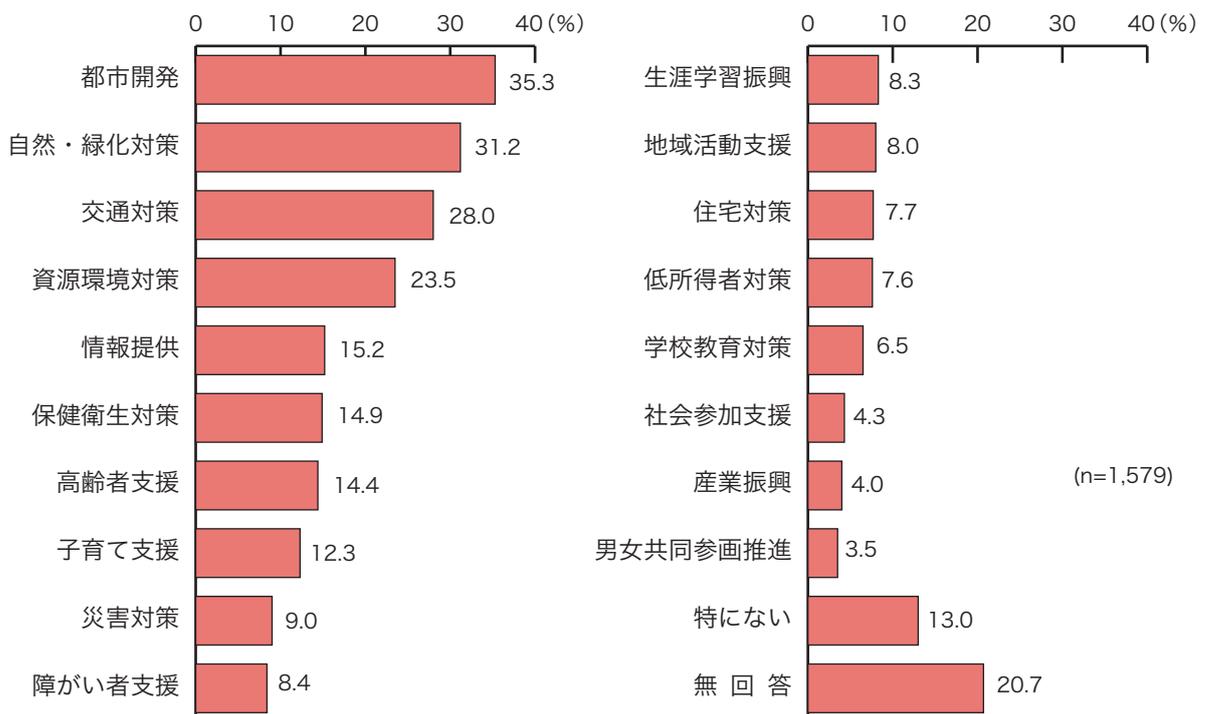
区政に対する満足度

《満足層》・《不満層》共に昨年より下降



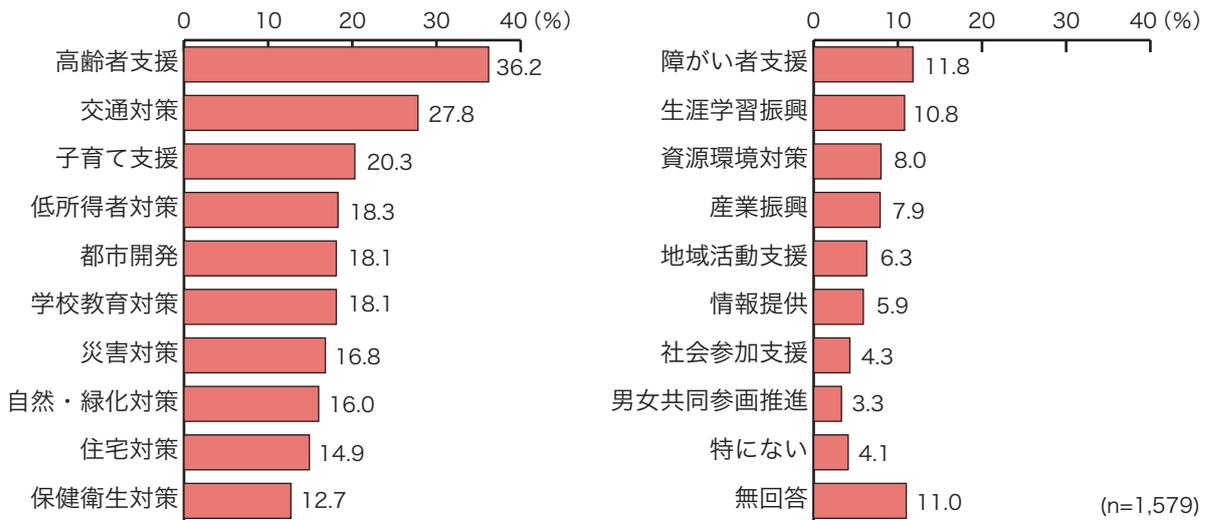
以前と比べてよくなったと思う区の取り組み(複数回答)

「都市開発」、「自然・緑化対策」が30%を超えている



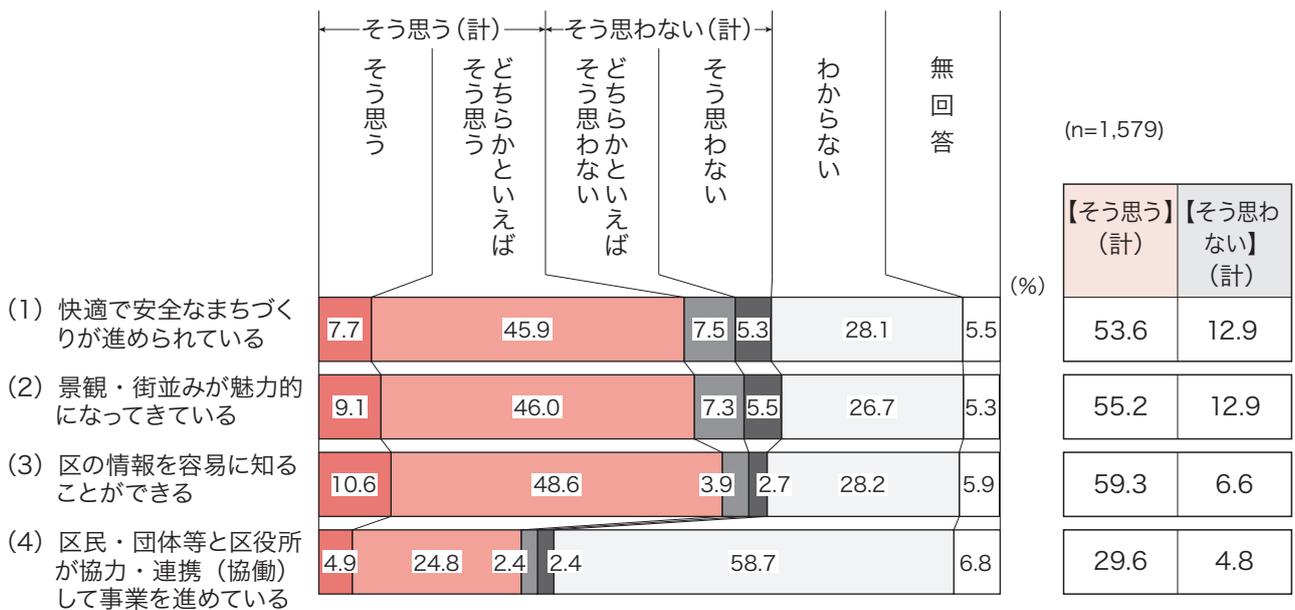
今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み（〇は3つまで）

「高齢者支援」、「交通対策」、「子育て支援」などへの要望が多い



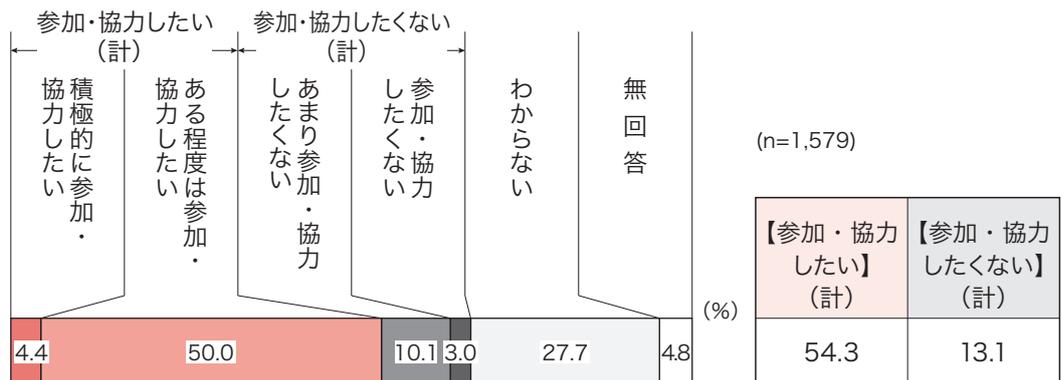
区の取り組みについての評価・印象

約6割の区民が「区の情報を容易に知ることができる」と感じている



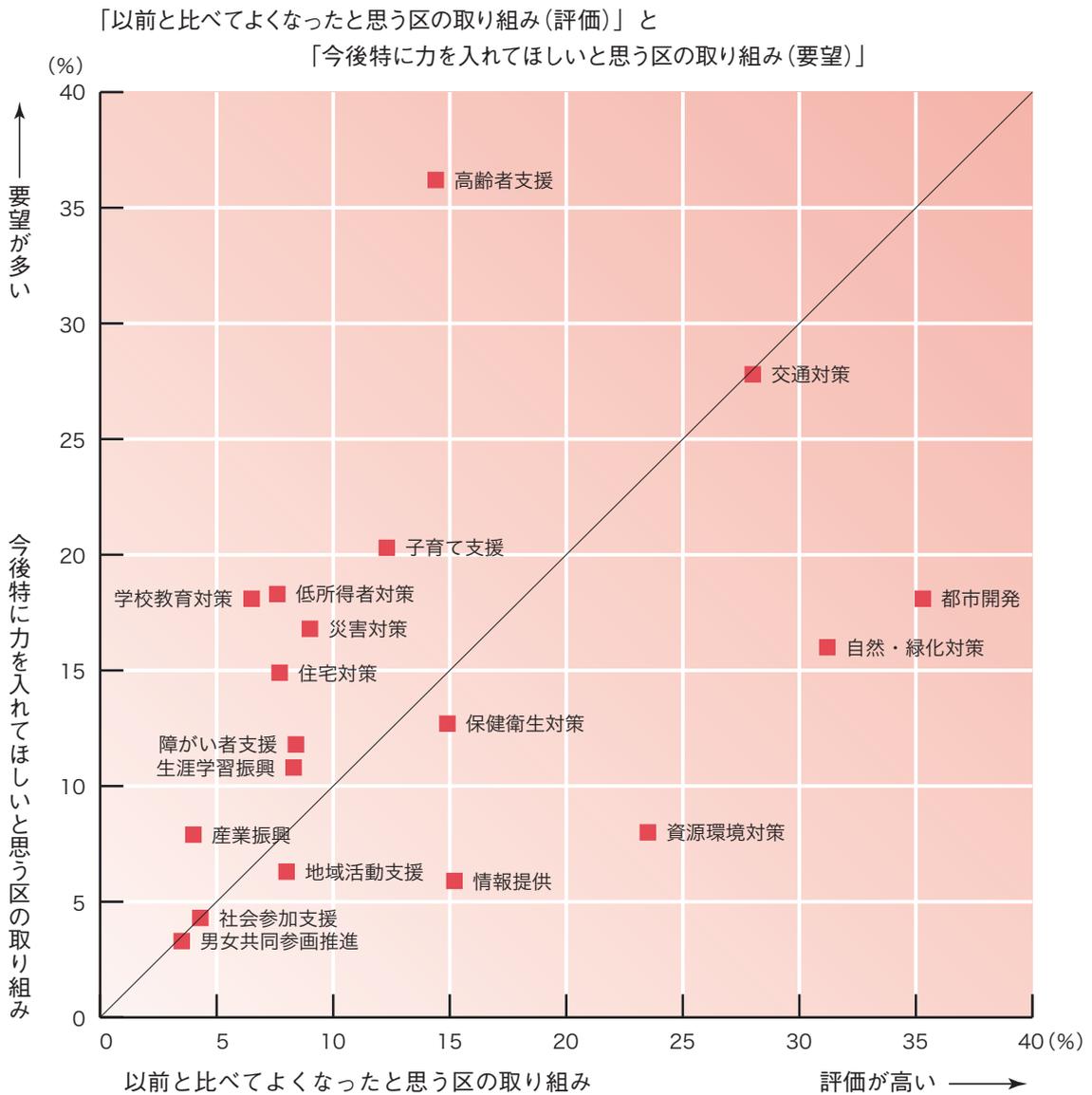
区政への参加・協力意向

54.3%の区民は参加・協力意向あり



取り組みについて〈評価と要望の比較対照〉（複数回答）

交通対策は評価も高いが、今後の要望も多い

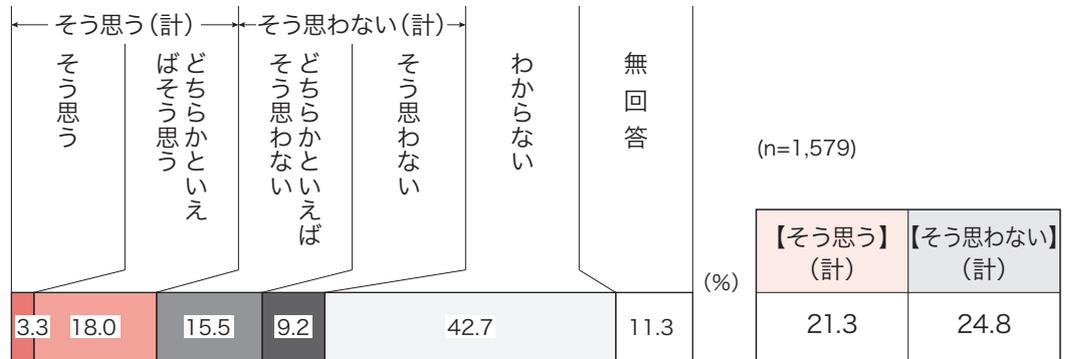


区の取り組み	内容	区の取り組み	内容
都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
住宅対策	良質な住宅の供給支援など	保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	生涯学習振興	文化・スポーツ活動の支援、施設の充実など
災害対策	防災活動の充実、都市の不燃化など	地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など
障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
低所得者対策	生活の援助や自立支援など	情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
子育て支援	保育サービスや子育て相談の充実など	男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど

区政への区民の意見の反映

区政への区民の意見の反映について

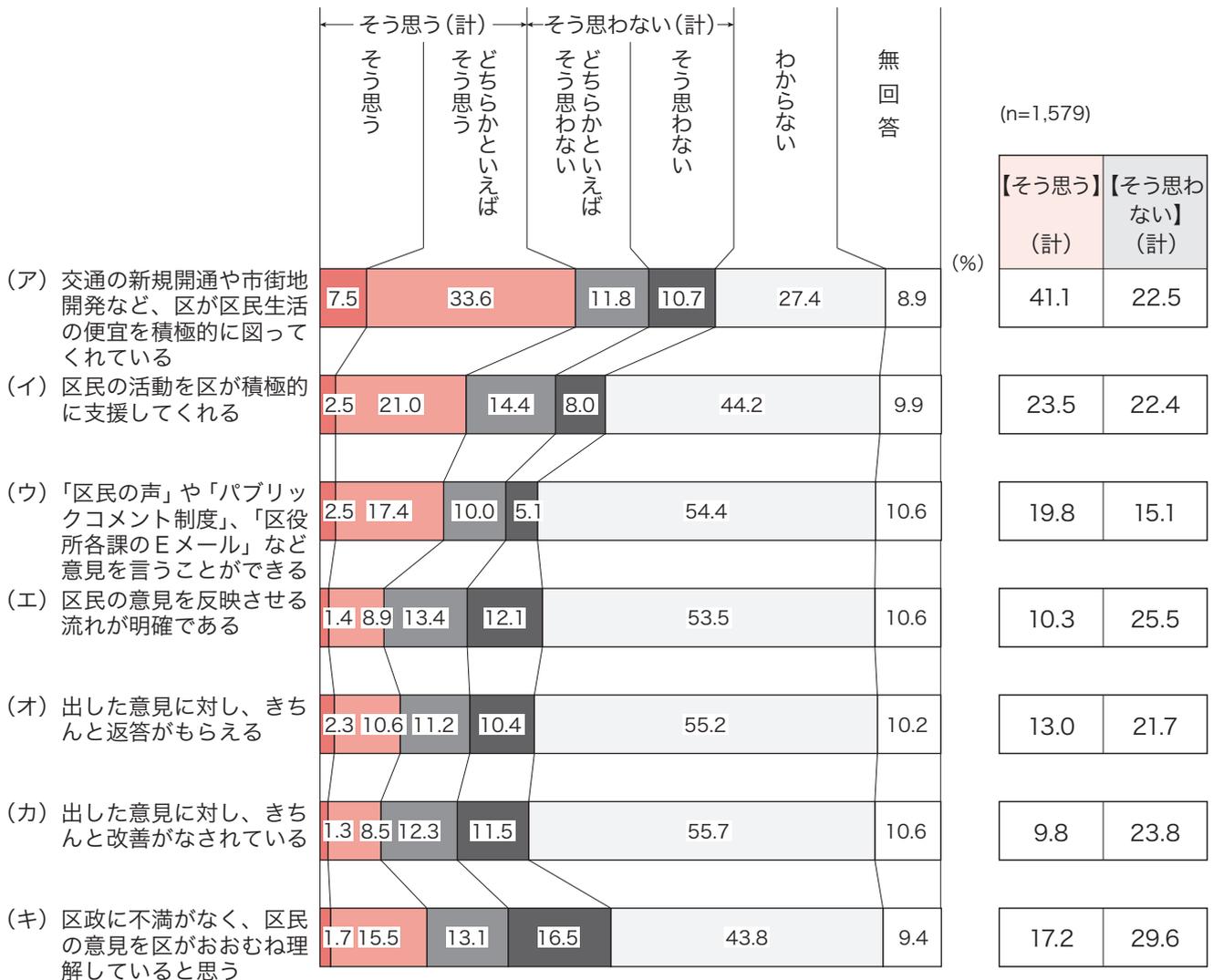
区政に区民の意見が反映されていると思う割合は約2割



区政への区民の意見の反映について (各項目ごと)

4割の区民が都市開発の取り組みを評価

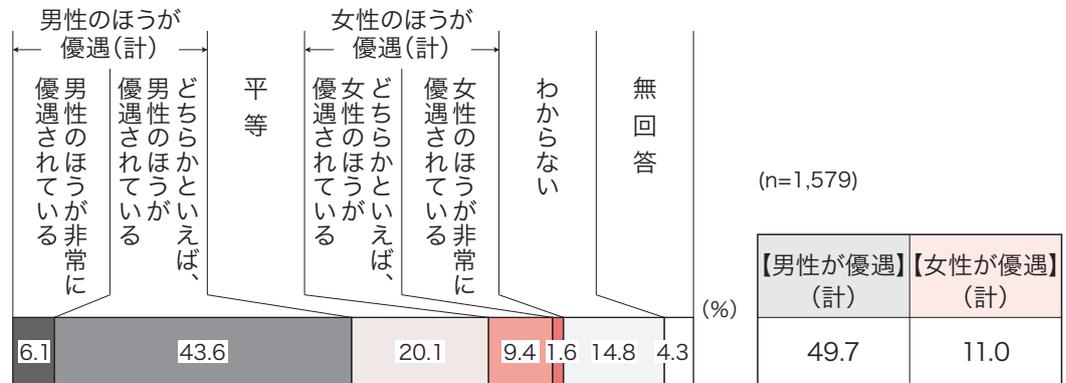
出した意見に対する区の対応に関連する項目では、「わからない」が約5割



人 権

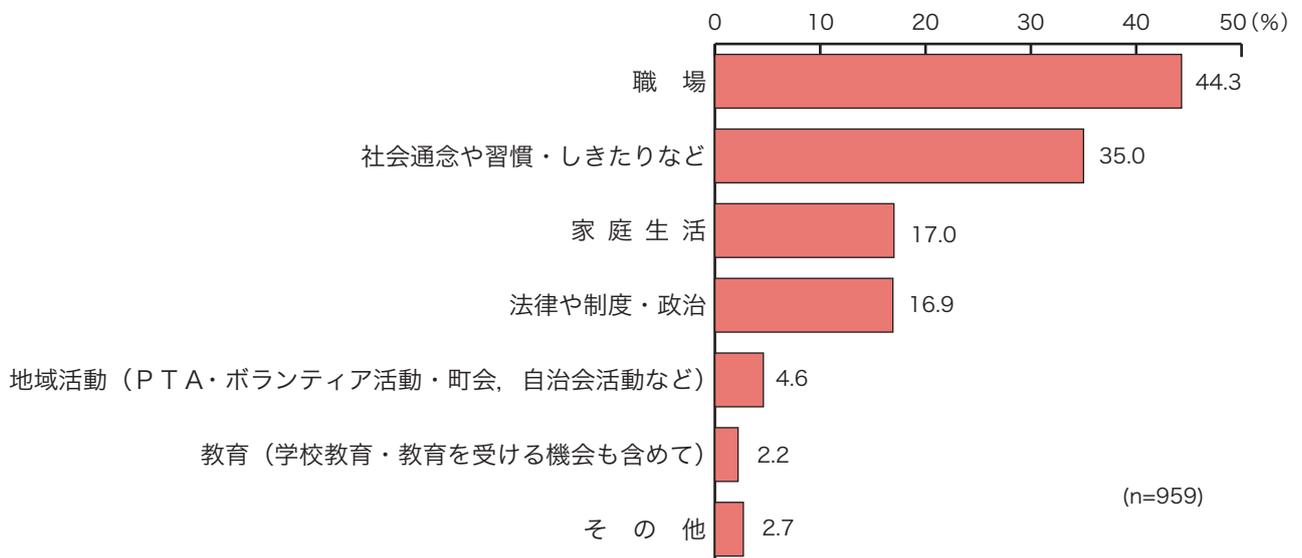
男女の地位の平等感

「男性の方が優遇」が5割弱を占める



男女が平等になっていないと感じる場面

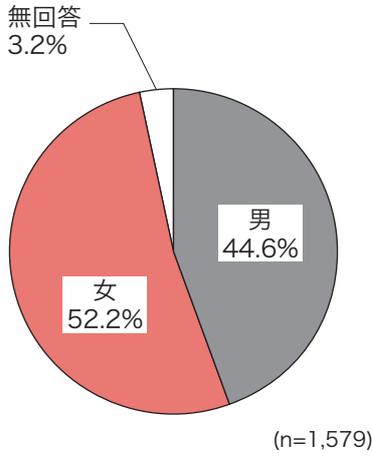
優遇されていると感じる場面で最も多いのは「職場」



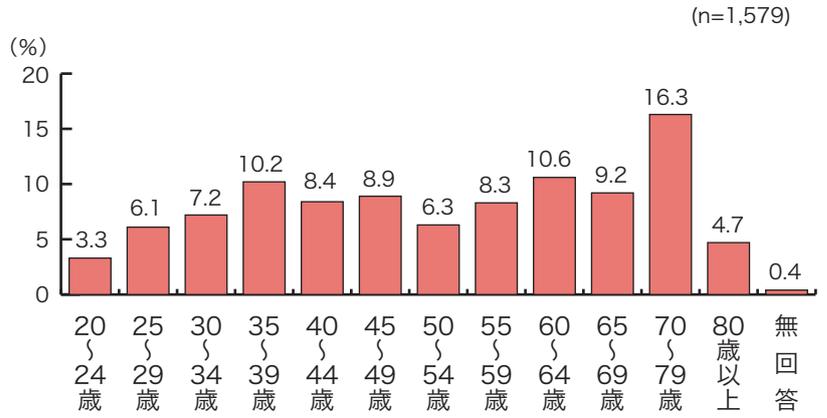
※基数は、「男女の地位の平等感」の質問で、「男性または女性が優遇されている」の選択者

標本構成

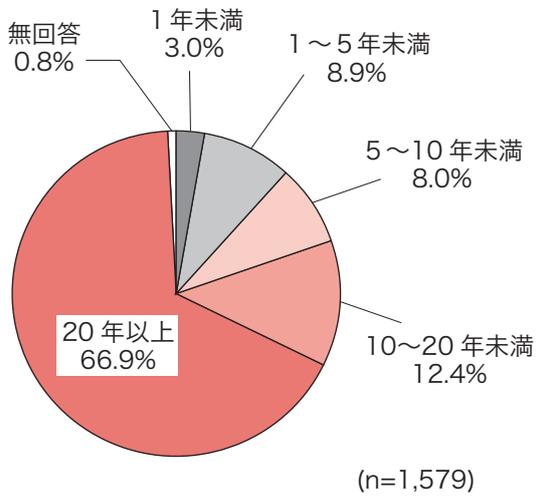
性別



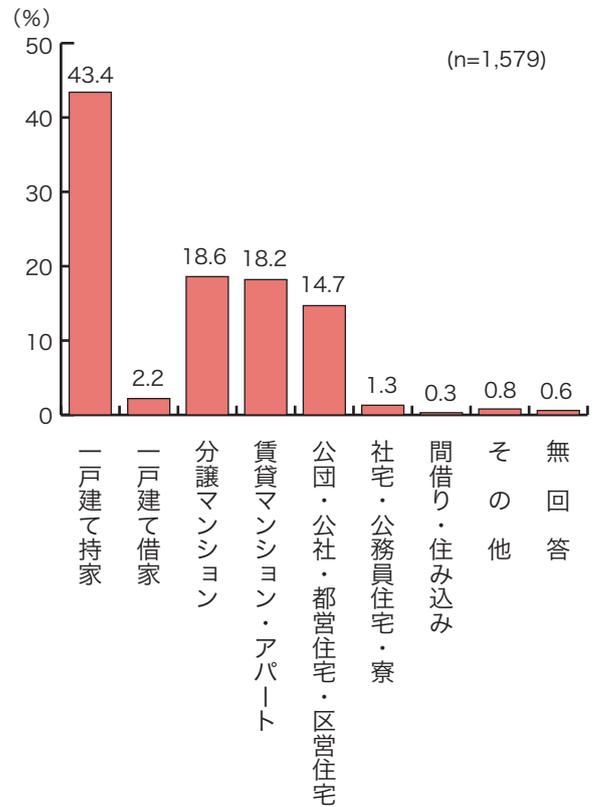
年齢



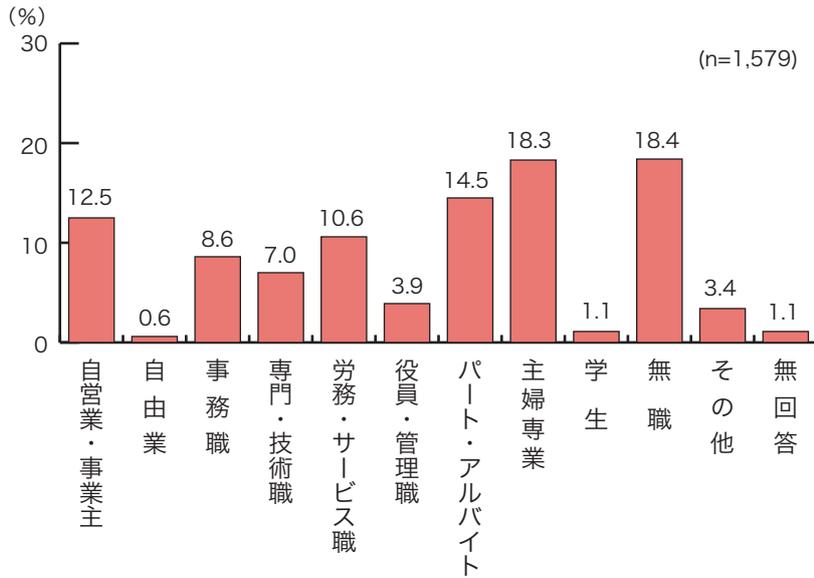
居住年数



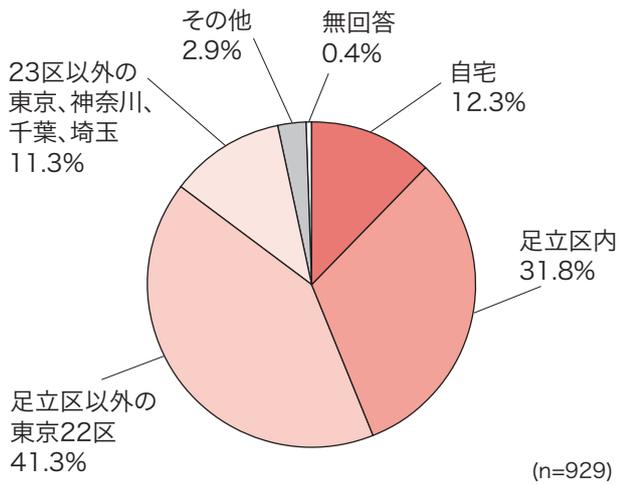
住居形態



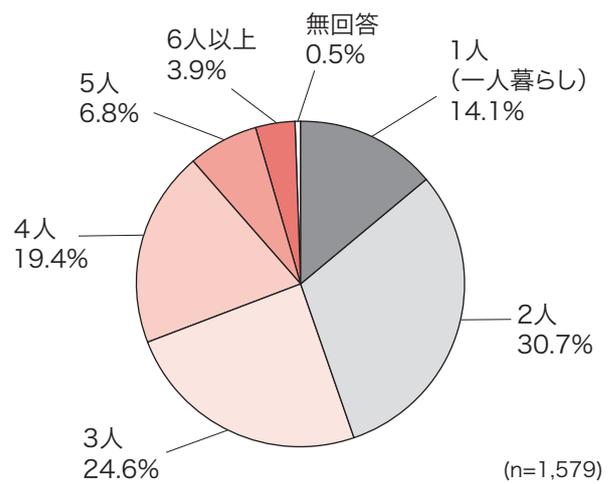
職業



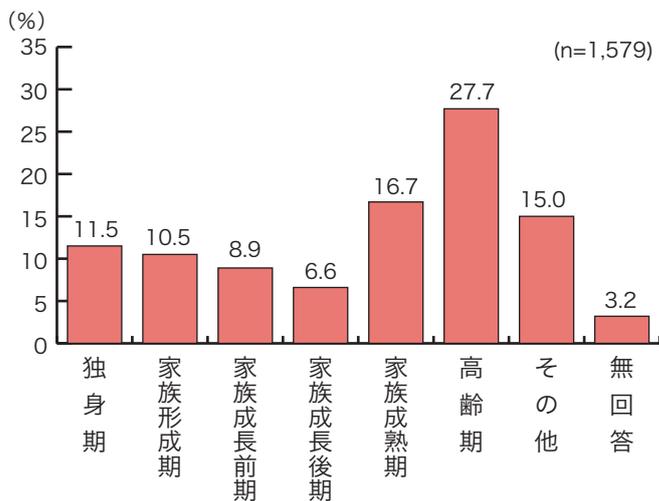
就労(就学)場所



同居家族人数



ライフステージ



足立区の面積 53.20km²(23区中3番目の広さ)

人口 667,891人

世帯 319,725世帯

*平成23年1月1日現在



区の木 さくら (平成4年制定)
区の花 チューリップ (平成4年制定)
シンボルマーク ▲ (平成3年制定、足立区の『A』を
もとに、水と緑、都市と人間、
自然などとの調和と未来への
飛躍を表現しています)



足立区政策経営部広報室長付区民の声相談課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1

TEL 03(3880)5111(代)

世論調査報告書の《概要版》、本編、《集計表》は足立区ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.city.adachi.tokyo.jp> 足立区政策経営部広報室長付区民の声相談課